

3月1日に高3生が巣立っていきました！！

3月1日（水）に215名の高校3年生が遺愛を巣立っていきました。全国の高校3年生と同じように、新型コロナのために入学時からマスク生活で、お互いの素顔を確認できず、授業が始まって1週間後には、北海道知事・道教委・学事課の要請で45日間の休業となりました。6月1日から授業は再開されたものの中間テストは当初予定の1ヶ月後に行われました。部活動が制限され、高1の時は、高体連・高文連などの大会が、地区大会から全国大会まで中止となりました。遺愛では、春の遠足中止、合唱コンクール中止、遺愛祭中止となりました。10月の修養会はオンラインで1日開催でした。12月のクリスマス礼拝は超短縮で、ハレルヤコーラスはできず、キャンドルサービスをかろうじて実施しました。

2年生になると、部活動の大会は復活し、合唱コンクールは讃美歌フェスティバルと名称を変えて小規模ながら復活し、遺愛祭も学年別に実施しました。10月の修学旅行はチャーター機で函館から那覇への直通プランも検討しましたが、コロナが悪化し、3月に延期しました。10月の修養会は、講師の先生に来てもらうことはできましたが、1日日程でした。クリスマス礼拝は、ハレルヤコーラスを2年ぶりに歌うことができ、当時の3年生（ソプラノ担当）は力が入りました。3月まで沖縄修学旅行を延期していましたが、2月には愛知の2校の県立高校が沖縄で発症者をだし、途中で戻らざるを得なかったというニュースが入りました。昨年と同様に中止にするか否か本当に迷ったところでしたが、直前アンケートでは高2生の8割以上の生徒・保護者が修学旅行参加を希望したため、保護者で医療関係者の方のアドバイスをいただきながら、3月5日（土）～9日（水）の沖縄修学旅行を決断しました。実際に行ってみると、修学旅行生は遺愛だけ、どこの観光施設も遺愛の貸し切り状態でした。ホテル、バス会社も感染対策をていねいに施し、安全・安心で思い出深い4泊5日となりました。

3年生になると、新型コロナ対応にも未知なる不安感は消え、かなり日常生活が回復して来ました。授業・部活動の大会・行事も通常に近い形で行われました。ピンチだったのは7月22・23日に開催予定の遺愛祭でした。前の週から部活関係を中心に陽性者が出始め拡大の兆しを見せ始めていました。このままだと遺愛祭でかなり拡大しそうだったので、関係の先生とも相談し、7月20日（予定は25日）で終業として夏休みに入り、8月15日（予定は20日）を始業とし、遺愛祭を8月16・17日に延期することにしました。おかげさまで上手くピンチを乗り越えることができ、中3・高3の保護者をお迎えしつつ遺愛祭を実施できました。その後は修養会も本来の1日半に戻し、クリスマス礼拝も学年の歌を除き、ほぼ本来の形で守ることができました。

そして2023年3月1日高校卒業礼拝式を迎えました。過去2回の卒業礼拝式は短縮で行い、卒業証書は一般コース、特進コース、英語科の代表者1人だけに渡したのですが、今年は本来の姿に戻し、215名全員1人1人に手渡すことが出来ました。3年間、新型コロナのなかで様々な制約があっただけに本当に大きな喜びでした。式のなかでは1人1人の卒業証書授与の場面はマスクをはずし、受け取る形を取りました。

2023年3月3日

